

## 2011 アートマイル 報告書

日本学校名 [ 仙台市立愛子小学校 ] 担当教諭名 [ 澤田 直美 ] ( 6年 4組 37名 )

交流相手国 [ アメリカ ]

海外学校名 [ Van. R. Butler. Elementary School ] 担当教諭名 [ Constance. Rogers ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	総合的な学習の時間	世界を知ろう・つながろう	30

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	祭り
絵に込めたメッセージ 作品展示の際に掲載 することがあります。	祭りには、それぞれの国の文化や人々の思いが表されている。相手の国と日本とのつながりを学び、歴史だけでなく、文化も様々な形でつながっていることを知った。これからも互いの国がそれぞれの良さや尊重できることを理解しあい、支え合っていくことを願って描いた。

半分描いた絵と完成作品の画像を貼付してください。 ※Web 公開しますので児童の顔などの扱いにご注意ください。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国の文化について深く学ぶことができた。</li> <li>・相手の国の文化・歴史について積極的に学ぼうとする意欲が高まった。</li> <li>・常に相手意識をもって、伝えるための工夫をすることができた。</li> <li>・協同でものを作り上げていく喜びを感じた。</li> <li>・世界には様々な人々がいて、それぞれの考え方があることに気付いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションが英語なので、自分の考えを相手に伝えることが難しかった。</li> <li>・時差の関係で、直接交流ができなかったのが残念であった。</li> </ul>

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りや学年便りで、活動内容を保護者へ伝えた。</li> <li>・できあがった絵を、校内に展示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の国への手紙を送る時には、保護者からも積極的に英訳の手伝いをしてもらうことができた。</li> <li>・展示作品を見て、校内の先生方や児童に興味をもってもらうことができた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・英語で自己紹介をフォーラムに書き込む ・自己紹介のビデオを送る。	これまで学習してきた英語をうまく使いながら、自分の表現で自己紹介カードを書いていた。ビデオレターでは、相手の国の言葉も使うなど、互いに学び合おうという意欲をもって活動に取り組んでいた。	総合5
情報収集	10月	・自分の国と相手の国の文化や歴史などについて調べる。 ・フォーラムに自分の国の紹介文を書き込む。	本やインターネットを活用し、相手の国について調べ、レポートを作成した。テレビのニュースなどにも、興味を示すようになり、自分の国とのつながりを意識したり、相手の国を身近に感じたりしていた。	総合10
テーマ検討	11月	・フォーラム上で、絵のテーマについて意見交換をする。 ・決まったテーマをもとに、フォーラムに絵のデザインを書いて提案する。	一人一人のデザイン画から、絵に込めたい思いや願いを話し合いながら精選し、制作する絵の構図を決めた。	総合5
制作	12月	・グループごとに分かれて絵を描く。	デザイン画をもとに、丁寧に描いていた。描きながらも、仲間と相談しながら、バランスを考えて制作を進めた。完成後は、もう一度自分たちで見直し、相手に伝えたい思いを整理した。	総合8
鑑賞	3月	・協同制作した絵の鑑賞をする。	・掲示板だけでやりとりしただけなのに、これほど立派な絵ができあがったことに感激していた。他の国とも同じように交流したいという意欲をもっていった。	総合2

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	相手に伝える内容をより詳しく調べる中で、自分の国についてよく理解することができた。
異文化の理解	2	5・④・3・2・1	交流相手の文化・生活の違いや似ている部分を知り、相手に対する関心・理解が深まった。
コミュニケーション力(説明・共感・英語)	4	5・4・③・2・1	英語によるコミュニケーションを楽しんでいた。
情報活用能力(情報収集・発信)	7	5・④・3・2・1	その時の交流テーマに合わせた内容を厳選して相手に伝えた。
人間関係をつくる(学級内・交流相手)	3	5・④・3・2・1	相手の意見を尊重しながら、よりよい絵にするためにどうしたらよいか意欲的に話し合っていた。
協働する力(役割分担・協力)	6	5・④・3・2・1	テレビ会議や絵の制作では、担当を決め、グループごとに分担して計画に沿って活動した。
学習を追究する意欲	5	⑤・4・3・2・1	常に相手意識をもって活動していた。
表現力(伝えたいことを絵で表す)	8	5・④・3・2・1	互いの意見の折り合いをつけながら、想いのこもった絵を完成させた。
作品を鑑賞する力	9	5・4・③・2・1	自分たちが表現したかったことがどのように表現されているかを読み取っていた。